



伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験 検討委員会 第四回フォーラム in 滋賀

「石場建てを含む 伝統的構法木造建築物の 設計法」報告会

平成26年

7月12日(土) 13時~17時 (受付12時より)

会場：**立命館大学びわこ・くさつキャンパス
ローム記念館 4階 大会議室**

滋賀県草津市野路東1丁目1-1
JR南草津駅より近江鉄道バスで15分

日本の職人が伝えてきた「建物を地面に固定しない」「木の変形性能を生かした」「身近な自然素材で作る」伝統的な木造建築の技術が、3カ年にわたる実大振動台実験・要素実験を踏まえた科学的検証と解析を経て、ようやく伝統的構法のための新しい設計法として形になりました。

資料代：**2,000円** (参加費は無料)

定員：**300名** (先着順)

フォーラム終了後、交流会あり (参加費3500円先着60名)

参加申込：検討委員会のサイトにあるフォームより

<http://green-arch.or.jp/dentoh/>

問い合わせ：

NPO 法人 緑の列島ネットワーク

Tel：052-566-0064

mail：dentoh@green-arch.or.jp



プログラム

開会挨拶・来賓挨拶

来賓：馬淵澄夫 (衆議院議員・元国土交通省大臣)

林田康孝 (国土交通省住宅局住宅生産課 木造住宅振興室 室長)

I. 検討委員会の取り組み

鈴木祥之 (検討委員会委員長・立命館大学衣笠総合研究機構)

II. 設計法案の概要

齋藤幸雄 (設計部会主査・斎藤建築構造研究室)

III. 設計法の課題

向坊恭介 (設計部会・立命館大学理工学部)

IV. 設計法案の内容

詳細設計法：長瀬 正 (設計部会・日本建築総合試験所)

標準設計法：寺門宏之 (設計部会・京都市都市計画局建築指導部)

V. 今後の取り組み

大江 忍 (事業代表者・NPO 緑の列島ネットワーク)

質疑応答・閉会挨拶

実験の準備は、多くの実務者たちの協力によってすすめられてきた。



柱脚完全フリーの石場建てを含む、伝統的構法の変形性能を活かした新しい設計法を初めて公開します

伝統的な構法での建築がしにくくなっている現状を打開するために発足した「伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験 検討委員会」では平成22年度から3カ年、研究者と実務者とが協力して実大震動台実験、要素実験の解析や考察などの科学的検証を行ってきました。その成果が、すぐれた変形性能をもつ伝統的構法のための、新しい設計法として実を結びました。

設計法の構築にあたっては、伝統的構法の大きな特徴でありながら、現状では構造適合性判定を経なければ建築できない、柱脚を基礎に固定しない足元完全フリーの「石場建て」でも、適判を経ることなく建築できることを目指し、それを実現できる道筋をつけました。検討委員会の事業が終了して一年以上経過してようやく、この設計法を皆様に公開できる運びとなり、7/12に立命館大学びわこ・くさつキャンパス ローム記念館にて、報告会を開催します。ぜひご参加ください。

あとは、この設計法を法的に位置づけるという行政上のステップが残されています。伝統建築に携わる多くの実務者が長らく望んで来たように、在来工法とは性質の違う伝統的構法が、建築基準法に的確に位置づけられること、それによって、日本に古来から伝えられて来た伝統的な職人技術による木造建築の知恵が、未来につながっていくことを心から願っております。

検討委員会委員長 鈴木祥之



現場で造ってる大工が一番そこをちゃんと感じて



まさしく伝統構法から学ぶものって非常に多いと思うんです



基本的には足元がフリーがいいというのは、すごくよくわかった。

上記画像はビデオ「2010年度伝統構法設計委員会の取り組み」より。検討委員会の活動を概観する映像を、ご覧いただけます。
<http://green-arch.or.jp/dentoh/>

伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験 検討委員会 第四回フォーラム in 滋賀

「石場建てを含む 伝統的構法木造建築物の 設計法」報告会

平成26年

7月12日(土)13時~17時 (受付12時より)

会場：**立命館大学 びわこ・くさつキャンパス**
ローム記念館 4階 大会議室
滋賀県草津市野路東1丁目1-1
JR 南草津駅より近江鉄道バスで15分

資料代：**2,000円** (参加費は無料)

定員：**300名** (先着順)

フォーラム終了後、交流会あり (参加費 3500円 先着 60名)

参加申込：検討委員会のサイトにあるフォームより
<http://green-arch.or.jp/dentoh/>

主催：特定非営利活動法人緑の列島ネットワーク
伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験 検討委員会
後援：立命館大学歴史都市防災研究所
これからの木造住宅を考える連絡会
職人がつくる木の家ネット

